



# 最後の卒業生 学び舎巣立つ

## 洞爺高校卒業式



先生たちの見送りに、笑顔で応える卒業生

3月をもって閉校となった洞爺高校（佐々木淑子校長）の第61回卒業式が、3月1日、同高の体育館で行われました。PTA、同窓生、地域住民らの祝福を受け、最後の卒業生23人が思い出の学び舎を後にしました。

式は、胆振西部を襲った暴風雪の影響で、午後2時から実施されました。

間を振り返り「3年間で学んだ自信と誇りを持ち、自分が幸せだと思う人生を歩んでください」と涙で声をつまらせながら式辞を述べました。

生徒代表して挨拶に立った中村祐三郎さんは、家族、地域の人々に感謝を述べ「洞爺高校で学んだことをかてに、苦しいこと乗り越えていきたい」と力強く語りました。

続いて、とうや小、洞爺中の児童生徒が卒業生に歌を贈る予定でしたが、暴風雪により臨時休校となり、同小、中学校の先生方が、サプライズとして登壇し、30分で仕上げた「旅立ちの日に」を披露しました。

最後に、校歌を斉唱し、64年間続いた最後の卒業式を締めくくりました。



卒業証書を授与される卒業生

続いて綱嶋教育長が挨拶し「この中学校の経験が人生において財産となり、教訓となるでしょう」と卒業生を励ましました。その後校旗の返納が行われ、大津校長が岩原義美教育委員長に校旗を手渡ししました。

## 洞爺湖温泉中学校

（大津智二校長）の第69回卒業式が3月11日、同校の体育館で行われ、PTAや来賓が見守る中、最後の卒業生となった4人を送り出しました。

式では、大津校長が式辞で「1年間の様々な思い出が浮かびます」と、生徒4人との1年間の学校生活を振り返り「あきらめず挑戦し続ける人間になってほしいと願っています」とはなむけの言葉を述べました。

卒業生を代表して挨拶した竹澤遙さんは「閉校を知り、不安で頭がいっぱいになったが、今は温泉中学校で学べてよかった」と述べ、先生一人ひとりの名前を告げて、感謝の気持ちを伝えました。

写真映像で3年間を振り返った後、4人で選んだ「あなたへ」を合唱。最後に式歌の「旅立ちの日に」を歌い、これで2、789人の卒業生を送り出した洞爺湖温泉中学校の最後の卒業式を終えました。

## 洞爺湖温泉中学校卒業式